

## ディスカッションの論点(あえて小さく)

- 単独誌での応募を想定としたもの
  - 国際情報発信A 大規模
  - 国際情報発信B 小規模
  - オープンアクセス
- 雑誌連携での応募を想定したもの(項目出しについては最後のチャンス?)
- 評価のされかた
  - 定量指標の重要性

SPARC Japan セミナー 2012.7.25 Kazuhiro Hayashi

## まとめ

- 自分の雑誌を改めて知る
  - 置かれている状況(分類、国、地域)
  - 売り、改善点、自分の雑誌の価値は何か
  - オープンアクセスとの親和性
- 新しい取り組みを考える(シナリオづくり)
  - 自誌の国際発信力強化とは
  - 連携強化によるシナジーやスケールメリットは出せないか
  - 費用項目の具体化と組み合わせ
  - 成果の設定(目標設定の定量化)
  - 理事会承認までのスケジュール感もお忘れなく

SPARC Japan セミナー 2012.7.25 Kazuhiro Hayashi